

施策名：子育て支援の充実

評価項目	指摘事項	市の考え方	担当部課名
<p>① 成果指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 ・目標値の設定は適切か。 ・他に考えられる指標はないか。 ・成果指標の経年推移についての確かな分析を行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 →沿っている。ただし「他に考えられる指標はないか」も参照のこと。 ・目標値の設定は適切か。 →「市の子育て相談体制に満足している保護者の割合」「子育て支援サービスを実施可能な施設の割合」については適切である。ただし、「保育所の待機児童数」については、目標を「0人」にすることが現実的には困難であり、たとえば保護者の希望に対する「充足率」のような、指標を工夫する必要がある。 ・他に考えられる指標はないか。 →児童虐待に関する成果指標が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年4月1日から子ども・子育て支援新制度が施行されるにあたり、子育て支援の充実を図るため平成27年度から平成31年度までを期間とする市の子ども・子育て支援計画を策定中です。 本計画には待機児童について、保育のニーズ量に合わせ、2年後「0人」を目標に確保方策を検討しているところです。また、目標値については第4回子ども・子育て支援会議の中で提起の上、了承を得たところであり、本計画の目標数値を中期プランに反映します。 子ども・子育て支援計画の目標値は、各保育園における定員の増加による受入人数の推移から、H27：29名、H28：0名と設定しますが、計画はH27年度からの実施であるため、H26の目標値を、子ども・子育て支援計画との関連とH25実績から31名と修正します。 ・児童虐待に関する成果指標につきましては、虐待の種別・内容等様々なケースがあり、長期的な支援を要する場合や、案件ごとに個人の家庭事情等について把握した中での取り組みが必要な場合もあることから、一概にその成果を把握できない他、デリケートな問題であり、指標設定することになじまないと考えます。 	<p>教育部 こども課</p>

<p>② 施策を構成する事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 ・目指す姿の実現に貢献している事業か（貢献度の評価・判断理由は適切か）。 ・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 ・他に考えられる事業はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 →過なものはない。不足については「他に考えられる事業はないか」を参照のこと。 ・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 →ない。ただし、市による取り組みではなく、行政と市民との協働を伴う方法を用いることで、市が直接関与すべき範囲が明確になる事業もある（たとえば地域の高齢者に子育て支援に協力してもらうなど、保育士を伴わない方法による子育て支援の取り組み）。 ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 →たとえば子育て環境の不安定化・孤立化の問題に関する対策の成果向上については、同じ問題への対策を含む「家庭の教育力向上」などの他の施策との連携が必要である。また、成果向上のために追加すべきものについては「他に考えられる事業はないか」を参照のこと。 ・他に考えられる事業はないか。 →現状の事業一覧では、児童虐待対策がどの事業に含まれるのか不明確である。虐待の未然防止策も含めて独立した事業とすべきである。また保育士確保の取り組みや、保育士配置を伴わない形で地域の企業や高齢者に子育て支援に協力してもらう取り組みも必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、行政と市民の協働による方法を用いることで、市が実施しなければならない事業、市民が主体となって行う事業等、効果的な事業のあり方を考え、例示いただいたような事業の実現に向けて取り組みを進めてまいります。 ・ご指摘のとおり、施策「家庭の教育力向上」と連携を進めます。具体的には、同施策の事務事業である家庭教育力向上事業と連携し、ニコニコガイド等による子育て情報の提供、ニコニコチャレンジの継続実施、講演会や研修会の開催のほか、保育士体験や高齢者の方々との交流や子育てアドバイスなどの実践を加え、子育て環境の不安定化や孤立化を解消していく取り組みをしてまいります。 ・児童虐待対策については家庭児童福祉に関する相談指導を行っています。実施内容については、施策評価シートのご「施策を構成する事務事業一覧」のうち、No.12 家庭児童相談事業の記載を下記のとおり修正します。 <p><施策を構成する事務事業一覧（No.12 家庭児童相談事業）></p>	
---	---	---	--

		<ul style="list-style-type: none"> • 児童虐待等児童の養護に関する相談、訪問調査、指導援助等を実施 • 要保護児童地域対策協議会の開催 • 保育士確保については、保育士募集を広く呼びかけ、保育士資格取得者で仕事をしていない潜在保育士の掘り起しをするとともに、県内保育士養成学校を訪問し、情報収集と就職のお願いをするなど確保の努力をしてまいります。また、保育士配置を伴わない形で子育て支援に協力していただく取り組みについて検討してまいります。 	
<p>③ 施策の総合的な評価</p> <p>• 施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。</p>	<p>• 施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。</p> <p>→おおむね明確になっている。ただし児童虐待については、(課題)や(今後の方向性)の中で掘り下げた記述が必要である。</p>	<p>• ご意見に基づき、児童虐待について下記のとおり<課題>および<今後の方向性>を修正します。</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> • 児童虐待は、不安定な家庭環境や社会からの孤立化により発生するという面もあり、気になる段階から支援が行えるよう、防止対策を進める必要がある。 <p><今後の方向性></p> <ul style="list-style-type: none"> • 待機児童の解消のため、保育園の定員増等を行う。 • 学童クラブにおける指導員の資質や保育の質の向上を図る。 • 児童虐待の早期の相談対応や見守りを強化し、通報義務等について市民の児童虐待への意識啓発を行うとともに、保育園・幼稚園・学校・児童委員など関係機関との情報共有を図りながら適切な相談支援を行う。 • 保育二ーズの需要量を把握し、有識者及び市民との意見交換を 	

<p>④ シート記載内容について</p> <p>・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。</p>	<p>・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。</p> <p>→「4 施策を構成する事務事業一覧」の各事業が、「1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績」の(1)～(4)のどの部分に対応するのか整理されていない。そのため、施策のどの取り組みが、どのような事業で構成され、各事業がその取り組みにどの程度貢献しているのか把握しにくい。施策の状況を的確に評価する上でも、事務事業一覧における各事業の記載方法について工夫が必要である。</p>	<p>重ねた上で、子ども・子育て支援新制度の計画を策定する。</p> <p>・施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績に記載している順番に従って、事務事業の記載を整理します。</p>	
--	---	---	--

施策名：家庭の教育力向上

評価項目	指摘事項	市の考え方	担当部課名
<p>① 成果指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 目標値の設定は適切か。 他に考えられる指標はないか。 成果指標の経年推移についての的確な分析を行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標値の設定は適切か。 <p>→家庭を取り巻く状況の悪化を踏まえれば、現状維持を目指す方向性は適切と考える。</p>		
<p>② 施策を構成する事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 目指す姿の実現に貢献している事業か（貢献度の評価・判断理由は適切か）。 市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 他に考えられる事業はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 <p>→下記「他に考えられる事業はないか」を参照のこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> 他に考えられる事業はないか。 <p>→「どのようにして子どもに躡けていけばよいか分からない」との保護者の声に対応する方策として、三世代交流の促進や、祖父母の子育て体験を伝える機会を設ける事業があつてよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘のとおり、家庭教育力の向上の充実を図るとともに、三世代交流や祖父母の子育て体験を伝える機会を設けるなど地域や家庭と連携した取り組みを推進してまいります。 	<p>教育部 こども課</p>

<p>③ 施策の総合的な評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 <p>→施策評価シートの「施策の総合的な評価」の記載内容が、各事業の事務事業マネジメントシートの「総合評価」の内容を必ずしも適切に反映していない（青少年活動推進事業の総合評価の内容である「家庭教育講座については、小学校での開設機会が減少していることから、事業実施の方法、周知の方法など、事業そのものの在り方から、検討したい」という部分が施策評価シートに反映されていない）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、＜今後の方向性＞を下記のとおり追記します。 <p>＜今後の方向性＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講座については、家庭教育力向上に必要な事業であることから継続を前提として実施方法について見直しを進めていく。 	
<p>④ シート記載内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。 	<p>指摘事項なし</p>		

施策名：自主的学習の推進

評価項目	指摘事項	市の考え方	担当部課名
<p>① 成果指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 目標値の設定は適切か。 他に考えられる指標はないか。 成果指標の経年推移についての確な分析を行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 →沿っている。ただし、下記の「他に考えられる指標はないか」に記載の意見が出された。 目標値の設定は適切か。 →適切である。ただし、設定理由として、近隣の市の状況を参考にしたことが分かると尚のぞましい。 他に考えられる指標はないか。 →生涯学習に関しては、生涯学習の受講（施設利用状況、講師出講回数、1講座あたり受講者など）に関する指標があって良い。また図書館に関しては、「図書館の利用者数」の指標があって良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 「市民一人当たりの図書貸出数」については、他市事例を参考としていることから評価シート様式も含めて検討します。また、「生涯学習講師新規登録者数」については、実績値を考慮し、生涯学習講師の総登録者数の5～6人に1人程度と設定しておりますが、今後は、近隣の市の類似指標も参考とし、適切な目標値を設定してまいります。 講座の受講者や施設の利用状況は、アウトプット（事業結果）としては目標としてわかりやすいと認識しております。一方で、地域の実情や社会の要請などの学習ニーズにより、毎年、講座の内容・講座数・定員などは異なるため、成果指標として用いるためには留意が必要であり、これらも踏まえながら、早急に検討を行ってまいります。 図書館の利用者数（入館者数）を指標とすることは、現図書館の性格が図書の貸出しを主とすることから、現段階では考えておりません。 	生涯学習部 生涯学習交流課
<p>② 施策を構成する事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 目指す姿の実現に貢献している事業か（貢献度の評価・判断理由は適切か） 	<ul style="list-style-type: none"> 施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 →下記「他に考えられる事業はないか」を参照。 目指す姿の実現に貢献している事業か（貢献度の評価・判断理由は適切か）。 →図書館整備の貢献度の判断理由が分かりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 判断理由が分かりにくいとのご指摘がありましたので「基本構 	

<p>か)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 ・他に考えられる事業はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 <p>→ない。ただし、生涯学習（特に若い人対象）に関しては、市以外の様々な団体でも行われており、市を含めた関係団体間での意見交換などの機会があると、市の関与のあり方がより明確になるのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 <p>→映画会については、現行の16ミリ映写機を用いた方法だけではなく、DVDなどの利用や、振興センターでの開催など、開催のあり方に工夫の余地がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他に考えられる事業はないか。 <p>→市内での生涯学習に関する取り組みが見渡せる「掲示板」のようなものを作ると、市民が、市を含めた様々な団体で行われている生涯学習にアクセスしやすくなるのではないか。</p>	<p>想の策定により整備事業がより具体化した」と修正いたします。</p> <p><施策を構成する事務事業一覧（貢献度の判断理由）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本構想の策定により整備事業がより具体化した。 ・市としても情報交換の場は有用と考えており、また、市内の青少年団体などで、若者や青少年の各種の取り組みが行われているのは認識しております。青少年に関する活動や市を含めた意見交換などの機会について、検討してまいります。 ・映画会については、現在、16ミリ映写機を用いた方法よりDVDによる開催が多くを占めております。また、花巻図書館と隣接する花西振興センターの共催による映画会を行っているほか、振興センターやまなび学園の生涯学習事業の一部においても、図書館の視聴覚教材を活用していることから、今後も、映画会の開催方法、視聴覚教材の活用について、工夫を凝らしてまいります。 ・広報はなまき内の市民伝言板、花巻市HP、はなまきナビ！、学習資源検索システム「はなまきまなびガイド」などを通じて、市内のサークルなどの情報を提供しております。 ・市民が様々な団体で行われている生涯学習に関する取り組みを見渡せる「掲示板」に、現在、最も類似していると思料されるのは「はなまきまなびガイド」であり、指導者・団体・生涯学 	
---	---	--	--

		<p>習講座などの学習資源を検索することができるため、今後はその内容の充実に努めてまいります。</p>	
<p>③ 施策の総合的な評価</p> <p>・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。</p>	<p>・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。</p> <p>→市民一人当たりの図書貸出数が低下しているという課題と、それに対する今後の方向性について記載が必要である。</p>	<p>・ご指摘いただきましたとおり<課題>および<今後の方向性>に、下記のとおり追記いたします。</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書貸出数が低下している。 <p><今後の方向性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の蔵書やレファレンス機能の充実を図るとともに、職員の資質向上によるきめ細かなサービスに努める。 	
<p>④ シート記載内容について</p> <p>・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。</p>	<p>・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。</p> <p>→事業名と事業内容の対応が分かりにくい。</p>	<p>・平成25年度においては、自主的な生涯学習の推進を目指して、市が直接的に講座を開催する事業は「生涯学習講座開催事業」、講座以外のふれあい出前講座など、市民自らによる生涯学習の取り組みを支援する事業を「生涯学習活動支援事業」とするなど、事業の整理を図ったところであります。</p> <p>なお、平成26年度において「生涯活動支援事業」については、「視聴覚教育推進事業」としております。</p>	

施策名：青少年の社会教育

評価項目	指摘事項	市の考え方	担当部課名
<p>① 成果指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 目標値の設定は適切か。 他に考えられる指標はないか。 成果指標の経年推移についての的確な分析を行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 →成果の把握に関する予算的・技術的などの制約を考慮すれば、現状では目指す姿に沿っていると判断する。ただし、活動参加の有無を集計した数字は厳密には「成果」とは言えないため、「成果」の把握について工夫の余地がある。 目標値の設定は適切か。 →最終的な目標値に向けて少しずつ目標をあげていく方向性は、現実的かつ妥当と判断する。 他に考えられる指標はないか。 →施策レベルの成果指標は、上述の通り現状ではこれでよい。ただし事業レベルの指標については、不十分なところがある（家庭教育講座の出席者数、キャンプ参加者の満足度）。 成果指標の経年推移についての的確な分析を行っているか。 →施策評価シート「3成果指標の達成状況」の記述（参加者の増加は見られるものの、直接活動に関わる市民は減少している）が、どの指標を根拠としてなされているのか不明確である。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘のとおり、「成果」に関する指標を検討し、成果の把握に適切な指標を検討してまいります。 現在、掲げている目標値をそのまま維持していきます。 事業に関する参加者・満足度・理解度を中心とし、事業レベルにふさわしい、適切な指標を設定してまいります。 「地域の行事やボランティア行事に青少年が参加していると思う市民の割合」が増加しているのに対して「青少年の健全育成活動に関わった市民の割合」が減少していることを根拠とし、記述したものでしたが、わかりやすい表現に修正いたします。 <p><成果指標の達成状況></p> <ul style="list-style-type: none"> 「地域の行事やボランティア活動に青少年が参加していると思う市民の割合」は、青少年活動の推進により増加したと考えられる。「地域で子どもの見守りや青少年の健全育成の手助けを 	<p>生涯学習部 生涯学習交流課</p>

		<p>している市民の割合」は、核家族化が進展し、保護者の多忙化意識が高まっていることや社会への関わりの場が少なくなっていることから、減少したと考えられる。</p>	
<p>② 施策を構成する事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 ・目指す姿の実現に貢献している事業か（貢献度の評価・判断理由は適切か）。 ・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 ・他に考えられる事業はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 <p>→地域行事やボランティアについては、一般市民の生涯学習や、学校教育とも関連するため、これらの関係する施策の事業との連携によって、青少年対象のこの施策の取り組みもより効果的になると考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他に考えられる事業はないか。 <p>→かつて存在した「青少年団体連絡協議会」のような、青少年関係団体間の横のネットワークが必要である（必ずしも行政が仕切る必要はない）。また「青少年関係団体への補助」の対象が、現状ではこの事業の存在を知っている一部の団体に限定されていると考えられるため、補助に関する情報提供など、市内の他の団体にも補助を受ける機会を平等に与える配慮が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり関連施策の事業等との連携を検討し、事業の重ね合わせによる相乗効果が生み出せるように努めてまいります。 ・「青少年関係団体の横のネットワークが必要」とのご指摘については、まずは団体間の情報交換を行う「連絡会議」のような形式が実現可能な選択肢の一つとして思料されますが、その望ましいあり方について検討を行ってまいります。また、「青少年関係団体の補助」については、そのあり方も含め、検討を行ってまいります。 	
<p>③ 施策の総合的な評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 <p>→（課題）の「子どもの頃から学区を越えた交流や体験活動の機会を設ける必要がある」の記述の根拠が、どの配布資料の中にも見当たらない。また（今後の方向性）の内容が、いずれも現状認識にとどまっている。これらの認識を踏まえた記述（ヒアリングや口頭説明での発言要旨など）の追加が</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見に基づき、＜課題＞および＜今後の方向性＞について下記のとおりに修正します。 <p>＜課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別化社会が進む中、子どもたちにはコミュニケーション能力の向上が求められている。 	

【人づくり・地域づくり部会】

	<p>必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・核家族化が進む中、家庭教育力の向上が求められている。 <p><今後の方向性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの頃からの交流活動や体験活動の機会を設け、人と交流する機会を設ける。 ・家庭教育を推進するため、教育委員会と連携した事業を推進する。 	
<p>④ シート記載内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。 	<p>指摘事項なし</p>		